



株主のみなさまには、平素は格別のご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。さて、ここに当社第55期(2022年4月1日から2023年3月31日まで)の年次報告書をお届けし、事業の概況をご報告申し上げます。

取締役社長 木下和洋

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による行動制限が徐々に緩和され、社会経済活動の正常化が進化したものの、急激な為替相場の変動のほか資源価格の高騰に伴う物価上昇による企業の経営成績や個人消費への影響が顕在化しており、依然として先行き不透明な状況となっております。海外において、米国では、インフレ抑制に向けた政策金利引き上げなどを背景に減速したものの、行動制限の大幅緩和に伴う個人消費の回復や良好な雇用環境により堅調に推移いたしました。中国では、ゼロコロナ政策の堅持によるロックダウンや制限解除後の感染急拡大により景気は減速いたしました。また、東欧における地政学リスクの長期化が、資源価格やサプライチェーンに与える影響などにより世界経済の不確実性は依然として高い状態が続いております。

当社グループの属する電子部品業界におきましては、期央にかけてサプライチェーンの混乱を懸念した半導体部品の先行手配やライフスタイルの変化による特需などにより堅調に推移しておりましたが、実需以上の供給体制が継続したことに加えて、欧米でのインフレや中国経済の失速を背景とした急激な市況の悪化により携帯情報端末向け部品を中心に在庫過剰が顕在化するなど非常に厳しい状況となりました。

このような情勢の中で、当社グループの当連結会計年度の連結売上高は37,231百万円(前年同期比6,115百万円減、14.1%減)、営業利益は、売上高の減少に加え電力料や原材料の価格高騰、先行投資に伴う減価償却費の増加などにより158百万円(前年同期比3,152百万円減、95.2%減)、経常利益は、為替差益などにより501百万円(前年同期比3,632百万円減、87.9%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は、子会社であるハヤマ工業(株)の建屋解体および土壌改良にかかる固定資産除却損などの特別損失計上により14百万円(前年同期比2,783百万円減、99.5%減)となりました。

今後の見通しにつきましては、世界経済の減速の懸念や資源価格・原材料価格の高騰など先行き不透明感が残るものの、コロナの収束に伴い経済活動の正常化に向けての動きも活発になってくるものと思われま。

また、当社グループの属する電子部品業界におきましても、在庫調整の局面が当面の間継続するものの、携帯情報端末向け部品をはじめとする民生機器向け部品の需要の底打ちなどにより下期以降、市況は回復基調に向かうものと見込んでおります。

当社グループは、引き続き需要動向に注視するとともに、生産能力の拡大、生産革新、自動化・省人化を目的に、従来からの主力製品に加え先端パッケージの研究開発にも継続的に取組み業績回復に努めてまいり所存です。

株主のみなさまには、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2023年6月

》決算ハイライト



※「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を第54期の期首から適用しており、第54期以降の各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっております。



連結財務諸表(要旨)

連結貸借対照表(要旨)

(単位:千円)

科目	前期末 2022年3月31日現在	当期末 2023年3月31日現在
資産の部		
流動資産	42,717,723	38,215,541
固定資産	18,435,041	19,153,278
有形固定資産	13,570,201	14,043,109
無形固定資産	301,605	278,297
投資その他の資産	4,563,233	4,831,870
資産合計	61,152,764	57,368,820
負債の部		
流動負債	9,486,688	6,329,312
固定負債	719,934	501,571
負債合計	10,206,623	6,830,884
純資産の部		
株主資本	50,737,255	50,080,112
その他の包括利益累計額	208,886	457,823
純資産合計	50,946,141	50,537,936
負債及び純資産合計	61,152,764	57,368,820

連結損益計算書(要旨)

(単位:千円)

科目	前期 2021年4月1日から 2022年3月31日まで	当期 2022年4月1日から 2023年3月31日まで
売上高	43,347,226	37,231,391
売上原価	35,551,702	32,722,877
売上総利益	7,795,524	4,508,513
販売費及び一般管理費	4,485,089	4,350,367
営業利益	3,310,435	158,146
営業外収益	968,752	445,690
営業外費用	145,153	102,552
経常利益	4,134,035	501,284
特別利益	11,278	27,842
特別損失	130,305	315,193
税金等調整前当期純利益	4,015,007	213,933
当期純利益	2,798,331	14,954
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,798,331	14,954

会社概要

(2023年3月31日現在)

商号	アオイ電子株式会社
設立	1969年2月1日
本社	香川県高松市香西南町455番地の1
従業員数	1,696名(120名) <small>(注)従業員数は就業員数であり、契約社員は()内に年間の平均人員を外数で記載しております。</small>
事業内容	電子部品の製造販売 [集積回路] IC、光学センサー、 ウェハーレベルパッケージ、LED 等 [機能部品] プリントヘッド、各種センサー 等

株式情報

(2023年3月31日現在)

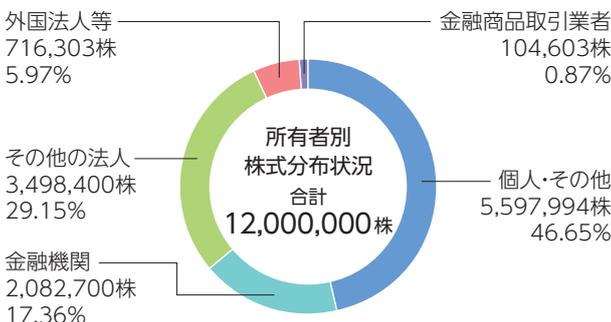
発行可能株式総数	40,600,000株
発行済株式の総数	12,000,000株
株主数	2,681名
資本金	45億4,550万円

大株主(上位10位)

株主名	持株数	持株比率
大西 以知郎	2,117千株	17.65%
公益財団法人 大西・アオイ記念財団	2,000	16.67
大西 通義	1,562	13.02
アオイコーポレーション有限公司	1,150	9.58
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	672	5.60
株式会社三菱UFJ銀行	350	2.92
日亜化学工業株式会社	221	1.85
大西 瞬子	209	1.74
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	180	1.51
明治安田生命保険相互会社	154	1.28

*持株比率は自己株式(975株)を控除して計算しております。

所有者別株式分布状況



*個人・その他の中には自己株式(1名・975株)が含まれております。

役員

(2023年6月28日現在)

取締役会長	中山 康治
取締役社長(代表取締役)	木下 和洋
常務取締役	福田 一幸(第2生産本部長)
取締役	青木 良二(管理本部長)
取締役(常勤監査等委員)	古田 昭博
取締役(監査等委員)	森糸 繁樹
取締役(監査等委員)	北山 昇
取締役(監査等委員)	橋本 潤子

(注)取締役 古田昭博、森糸繁樹、北山 昇および橋本潤子の4氏は、社外取締役であります。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
基準日	定時株主総会 3月31日 剰余金の配当 期末 3月31日 中間 9月30日

株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 電話 0120-094-777(通話料無料)

公告方法	電子公告 当社ホームページ (https://www.aoi-electronics.co.jp/)にて掲載いたします。やむをえない理由により、電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
------	--

単元株式数 100株

(ご注意)

- 株主さまの住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。